

地域にはばたく市民パワー！


ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2018年5月号(第116号)

発行責任者 佐藤 重松


ところざわ倶楽部


時局講演会「メディア論～政治とジャーナリズム～」講演中の門奈先生 2018. 4. 6 新所沢公民館ホールにて

「政治とジャーナリズム」175名の聴講



“ジャーナリズムとは何か”＝一般的にはマスメディアの報道活動を指す用語として定着しているが、その目的は「権力監視」とされる。

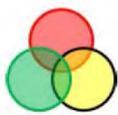
ところざわ倶楽部第11期の時局講演会は4/6表題のテーマで立教大学名誉教授門奈先生にご講演頂きました。会員112名・友好団体23名・一般市民40名の聴講参加を得て、新所沢公民館ホールを概ね満員の盛況で開演しました。

今回、一般市民の方からの問い合わせが多く、現下の政治状況に疑問や憤りを感じて聴講を希望された方が大半でした。聴講後の感想は、大変時宜にかなった講演会で

あった。権力とメディアがどのような関係にあるのが健全なのか、よく理解できた。これからの多様なメディアに対し、その情報を読み解く力が大切と感じた。門奈先生のスピーチが聴き手に分かり易いもので、大変好感がもてた。等々、講演会開催の意義はとても大きかったのではないかと思います。

感想・ご意見は後日HPで掲載。

(事業部：佐藤)



ところざわ倶楽部第6回文化祭 (6/6) 舞台出演サークル決定

今年は常連の参加サークルに加え、食トコ、歴史サークルが参加致します。

民話の語り、スマイル・パイレーツ、バンド等は地域のイベントにも参加されています。

ドラマチック・カンパニーも新たなメンバーが加わり今年のシェイクスピア劇は「ハムレット」が上演されます。また新規参加サークルの新たな出し物も期待しましょう。最後は踊りと太鼓の同級会音頭で盛り立てて戴きます。

皆様お誘い合わせの上御来場下さい。

尚、展示部門はまだ募集中です。日頃の研鑽の成果をご披露して下さい。



前回の公演風景

日程：平成 30年 6月 6日 (水)

場所：中央公民館ホール及びホワイエ

舞台部門

時間：開場： 12:00

開演： 12:25

終演： 16:00 (予定)

展示部門 展示： 11:00~15:30

問合せ：海老沢：04-2922-0259 (展示部門)

森野：04-2939-9756 (舞台部門)

舞台部門 プログラム

- ① 民話の会 (民話の語り：とんぼの宿り木他)
- ② 野老澤の歴史 (所沢駅の不思議)
- ③ スマイル・パイレーツ
(アクティブシニアチアダンス)
- ④ 食トコ (フードバンクの紹介)
休憩 (活いきシニア福祉幕間体操)
- ⑤ とことこバンド (ブルーシャトー等7曲)
- ⑥ ドラマチック・カンパニー
(朗読劇：ハムレット)
- ⑦ 映画の会 (踊りと太鼓の同級会音頭)

新シリーズ 原稿募集

戦争と平和の思いを綴ろう！

広報部



趣旨

- ・戦後70数年となり、戦争体験者が少なくなり、過去のことを忘れないためにも、

戦争と平和について今こそ考えよう

- ・子供時代に戦争体験をされた方々、祖父母・両親から話を聞かれた方々、戦後しか知らない方々、「戦争」と「平和」への思いを綴ろう。

- ・今後の世界の平和について考えよう！

新シリーズ名：戦争と平和！

執筆条件

- ① タイトルを付ける
- ② 原稿文字数
1/2 頁の場合 文字数 600字 写真 1-2 枚
1/1 頁の場合 文字数 1,500字 写真 2-3 枚
- ③ フォント MS明朝 10.5ポイント

掲載時期：2018年6月号 (117号) より

文芸講座



「遠野物語」・賢治・太宰・若竹「おらおらで…」
— 故郷とどう向き合うのか —

秋草学園短期大学教授 及川 道之

人には誰にでも生まれた土地があります。私事を述べるようで恐縮ですが、大学への進学を機に故郷を離れて以来ずい分と多くの月日が過ぎてしまいました。今、故郷には父母の入る墓と無人の住居があるばかりです。

その一方で生まれ育った土地から享けている精神的な影響の大きさに思い至る機会が最近とみに多くなっていることを実感しています。

実家の相続や墓終いといった現実的な問題に限らず、自身の内面で故郷という存在をどのように引き受け、どのような思いで向き合うのか、それは故郷で暮らす者、故郷を離れて暮らす者双方にとって極めて切実な問題であり、決して看過してはならない大きな問いが投げかけ

られているような気がいたします。

岩手県遠野の地に口承で伝えられた百数話を柳田國男が筆録した「遠野物語」、同じ岩手の花巻で生まれ育った宮沢賢治による幾つかの童話作品、津軽の大地主の家に生まれた太宰治の「小説津軽」、遠野出身の若竹千佐子による最近の芥川賞受賞作「おらおらでひとりいぐも」を通して、これを機会に改めて故郷のもつ意味や関係性について受講生の方々と一緒に考えてみたいと思います。



及川道之 先生プロフィール

- 岩手県釜石市に生まれる
- 秋草学園短期大学文化表現学科教授
- 日本文学風土学会代表理事
- 日本古代文学専攻
- 所沢市立所沢図書館協議会会長



柳田國男



宮沢賢治



太宰 治



若竹千佐子

文芸講座ご案内

日時：6/22・7/6・7/13・7/27=13時受付 13時30分開演

会場：生涯学習推進センター2階201号教室

講師：及川 道之（秋草学園短期大学教授）

第1回 6/22 柳田國男「遠野物語」

第2回 7/6 宮沢賢治「注文の多い料理店」ほか

第3回 7/13 太宰 治「小説津軽」

第4回 7/27 若竹千佐子「おらおらでひとりいぐも」

芥川賞受賞作

特別会員寄稿

オムスク大学 (ロシア) を訪問して

明治大学名誉教授 渡辺 隆喜



最近の主要な新聞報道に、イギリスにおけるロシアの反体制派スパイの毒殺事件がある。この件で欧米25カ国は200人程のロシア外交官を追放したと言う。未だ、この問題解決のための着眼点は見つ

かいていない。同じような事件は、10年前にも起こった。私が日ロ交流協会から、オムスク大学への集中講義を依頼された時である。私にとって、ロシアは近くて遠い国、得体の知れぬ縁遠い存在であったが、定年の年で、かつ好奇心もあって、受諾した。明治大学にロシア上院議員が訪れ、学術交流の申込みを受けたことも承諾するうえでの契機となった。口の悪い同僚は、ロシアでは毒殺に気をつけろと、笑いながら注意してくれたことを覚えている。

私は定年になって今年で10年。最初の年(71歳・2007年)から隔年で3回、オムスクを訪れている。昨年は北欧4カ国旅行で、サンクトペテルブルクを訪れているので、定年後10年間で4回、ロシアを訪れたことになる。いずれも権力の強大さを認識する旅であった。

最初の年は、シベリアの中心都市ノボシビルスクで、シベリア地区日本語弁論大会の審査委員長を務め、翌日、シベリア鉄道の特急で、西に8時間ほどのオムスクに移動した。

オムスクは西シベリア最大の州都で、かつて有名な小説家ドストエフスキーの流刑地であった。そのため、市や大学の名称に、彼の名を冠し、ドストエフスキー・オムスク市(大学)とも言っていた。彼の監獄は現在、博物館として一般に公開されている。このオムスクはカザフスタンに近く、120万人の大都市で、大学は国立大学のみ10校あり、その中心の総合大学が私の訪問先であった。

オムスクへは成田空港から10時間のモスクワで国内線に乗り換え、ウラル山脈を超えて3時間ほど日本側へ戻るのが一般的訪問の仕方であったが、最後の第3回訪問(77歳)の時は、北京経由で週一便のオムスク行きに搭乗した。渡航費は日本政府の国

際交流基金である。第1回から第3回までの6年間には、町中をわがもの顔で走っていた日本中古車が消え、大学トイレの汚さも、教員便所中心に改善が進んでいた。訪問した5月は気温が零度から10度で、もちろんコートが必要とした。

オムスク大学での講義は、第1回が「日ロ交流論」、第2回が「日本文化論」、第3回が「日本近代化論」で、各々6コマに区分して講義した。大学での私の講座定員は150人。多くの希望者が受講出来なかったと言う。それ程、日本に興味を持った学生が多かった。受講態度も熱心で、講義終了後は質問者が列をなす程であった。日本への留学希望者も多く、大学の現状を知りたい者も多かった。素直で健康的で積極的な学生が多く、日本の大学の3、40年前を思い出させた。最近のひっこみ思案の日本の学生と異なり、彼らが成長した時、新生ロシアが誕生するように思われた。

私の滞在中、大学国際交流部はさまざまな行事を立案してくれた。市内名所訪問、劇場や博物館見学、



オムスク大学講義風景

大学保養施設訪問などのほか、第2回(74歳)訪問の時には、日本フェスティバルの開催、世界青年会議への出席、第3

回(77歳)にはテレビ番組が生まれ、「地域と国際交流」が討議され、私が基調講演を行った。この行事と並行して、プーシキン図書館での公開講座、農業大学での特別講座(日本農業の現状)を3回とも担当した。

農業大学のゲストハウスが無料の宿泊所に用意されていたが、トイレトペーパー持参でと言われ、妻が同行したこともあり、宿泊事情の良いホテルに自腹で泊まることになった。裏を流れる大河の名をとって「イルティッシュ」ホテルと言った。1泊1人朝食付き5,000円程で安かった。

オムスク大学訪問は、私にとって貴重な体験となった。

市民大学は今

第26期所沢市民大学いよいよ開講

26期企画副委員長
松澤 慎也

所沢市民大学 26期開講近づく

所沢市民大学の第26期(2018年6月から2019年10月)がいよいよ6月5日(火)所沢市生涯学習推進センターにて70名の新受講者を集めて開講します。二年次のグループ学習にもっと時間を割いて欲しいとの声を反映して、一年次については従来6月から翌年2月までの9か月だったものを6月から翌年1月までの8か月と約1ヶ月短縮し、その分、二年次の開始を早めています。従って一年次の講座数としては27講座(開講式、自由企画、移動学習を除く)が23講座と減りましたが、日本最初の地質時代名称候補「チバニアン」を切り口にした「地質学」の講座、「病気予防としての運動効果」についてこれまでの研究成果に基づく講座、世界に誇る「日本の医療保険制度」についての講座等を新たに加えました。

26期一年次の講座

簡単に概要を紹介しますと、一年次、人文科学分野では今秋展覧会が開催予定のフェルメールについて講義頂く斉藤先生の「美術」、古代から遡って考える笠松先生の「音楽」、特に能について学ぶ松本先生の「日本の芸能」の3科目5講座が予定されています。

社会科学分野では未曾有の赤字の中、財政の在り方を考える倉地先生の「日本の財政」、食と農の再生について考える淵野先生の「日本の農業」、トランプ米国、習中国に挟まれた中での進路について考える茂木先生の「日本の外交」の3科目5講座です。

自然科学分野は、チバニアン研究者の岡田先生による「地質学」、脳の構造から認知症まで考える阿部先生の「脳の科学」、アクティブ・エイジングご専

門の樋口先生による「病気予防としての運動効果」、小高先生による地球温暖化の全体像と豊島先生による再生可能エネルギーについて学ぶ「地球環境」の4科目6講座とかなり入れ替わりしました。

所沢学は雑木林の大切さを学ぶ大堀先生による「地域の自然」、所沢が元気な街であり続けるための条件を考える廣瀬先生による「地方自治」、明治維新を所沢から考える渡辺先生による「所沢地域史」の3科目6講座と不動のラインアップです。特別講座として「日本の医療制度」の1科目1講座を加えて、全合計14科目23講座となりました。

また今期の移動学習は従来「空」を学んだJAXAから変更、横須賀にあるJAMSTEC海洋研究開発機構を訪問し、有人潜水調査船の実機見学などを通して「海」について勉強する予定です。

26期二年次の講座

二年次については、従来より一か月長い、2月から10月までの9か月間が学習の期間となり、テーマの決定、調査・研究、取り纏め・発表準備などより時間を使うことが可能となりました。音楽、日本の芸能、日本の農業、脳の科学、地域の自然、地方自治、所沢地域史の7講座は従来同様で、それぞれに学習の深化、新たな切り口が求められるところで

時代の流れの中でニーズをつかんで

少子高齢化に伴う定年延長など時代の流れの中で、市民大学応募者全体数字の減少傾向や女性比率の増加が見られています。市民大学に集う皆さんのニーズをしっかりとつかんで出来るだけ多くの方々が満足感を持って卒業できるように26期企画委員としてもサポートしていければと思っています。

お詫びと訂正

広場4月号の表紙の写真を丸山節氏にご提供いただきましたが、2頁の寄稿文のお名前を「丸山節男」と誤って記載してしまいました。丸山様には大変申し訳なくお詫び申し上げます。尚、HPの広場バックナンバーには修正したものを掲載しております。今後、このようなことのないように編集委員一同気をつける所存です。

広報部一同

サークル活動報告

「上映会 100 回記念」の宴

懐かしの映画・鑑賞会 橋爪 良輔

「懐かしの映画・鑑賞会」の発足は市民大学 19 期の 2 年次、選択した「所沢の元気なまちづくり」テーマ・サークルの仲間たち 14 名と企画委員 2 名の 16 名。市民大学修了後も結束を継続していききたいとの思いで新規サークル「懐かしの映画・鑑賞会」を立ち上げました。上映会初回は平成 24 年



上映会 100 回記念の祝宴

11 月、初上映作品 邦画「好人好日」笠智衆・岩下志麻 共演＜1961 松竹＞でした。上映会後に、毎年 1 月は「繭玉飾り」とか「桃の節句」「端午の節句」「七夕の会」「十三夜の宴」など、日本の古き良き伝統文化を楽しんでいます。今年 4 月 24 日は「上映会 100 回記念の祝宴」を行いました。余興：講談、漫談、詩吟。今回は「所沢のまち今は昔」の講義など、盛りだくさんで大いに盛り上がりました。

映画はその時代を写す鏡です。ゆっくり映画を鑑賞し、その後の食事やお茶等しながら当時の服装とか！何が流行っていたとか！その頃自分は何処にいたとか！なにをしていたとか！若い頃の政治や世相等々、スピーディな時代ですが、ゆっくり仲間と話し合うのも「なかなか いいものです」

これからも多くの皆様に楽しんでいただける企画をしていきます。映画に興味のある方、ご来場ください。

「ヒュッグ」ブームがいま日本にも押し寄せてきています

北欧の会 樋口 俊夫

北欧の国々を知り、憧れ魅せられてサークルを発足させ 10 年目をむかえています。最近の例会では DVD の鑑賞を中心に例会を進めています。4 月水俣病「花を奉る」石牟礼道子の活動、3 月「日本人の変わる働き方北欧に豊かに暮らす」2 月「欲望の資本主義」10 月「ヨーロッパ街歩き」などです。11 月には地球環境に学ぶサークルと共催で「スーパーエコタウン」の見学会を行いました。(写真)



スーパーエコタウン 見学

ここでは 3 月の例会で取り上げられた「ヒュッグ」ブームについて紹介したいと思います。昨年はデンマークと日本の国交 150 周年に当たり新聞や雑誌でも取り上げられ「ヒュッグ」が秘かなブームとなりました。「ヒュッグ」とはデンマーク発の言葉で「居心地のいい時間や空間、あくせくしない時間の過ごし方」を言います。「ヒュッグ」をテーマにユニクロが昨年商品開発をしたり、フライングタイガーコペンハーゲンのパーティグッズが 30% の売り上げ増になったり、ヒュッグ教室が開かれたりしています。

私にとっては「ヒュッグ」ブームが日本にまでやってきたことは大変な驚きです。商業ベースに乗った一面もありますがここは素直に喜びたいと思っています。今後ヒュッグの時間が少しでも多くの人々に広がっていけば今よりゆとりのある潤った生活が出来るのではないかと期待しています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 2922-6420)
 6月14日(木)13:30~15:30 中央公民館
 第3回「源氏物語」と能「夕顔」講師:竹内好夫観世流師範
 大好評にて 聴講大歓迎! 受付中。
 7月12日(木)13:30~15:30 中央公民館 第4回講義

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)
 5月16日(水) 13:30~ 中央公民館
 所沢の語り部「粕谷眞」氏と2名の語り部による
 「ところ学」の話を聞く会
 6月13日(水) 13:30~ 中央公民館 テーマ未定

3. 活いきシニア福祉の会(川上紀春 090-5573-2548)
 5月23日(水) 10:00~14:00 東村山北山公園散策
 菖蒲まつり見学
 6月27日(水) 10:00~12:00 場所未定
 所沢市福祉制度関連勉強会(予定)

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)
 5月 8日(火) ワーグナー・楽劇「トリスタンとイゾルデ」
 バレンボイム指揮、ミラノ・スカラ座
 6月19日(火) ヴェルディ・歌劇「ナブッコ」
 いずれも 13:15~ 中央公民館3階 8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会(園田 ヒロ子 090-4005-1882)
 6月12日(火)14:00~17:00 場所中央公民館3F
 「食の安全と種の話」ミニ講演会
 7月 3日(火)場所上尾市 時間未定
 井上スパイス工場見学

6. 地域の自然を考える会(岩本 賢次 2923-9324)
 5月29日(火)10:00~12:00
 12号地生保全整備作業:下草刈り、常緑樹の間伐など
 作業ご希望の方、北中グラウンド西側のトコ 12号地に、
 現地参集ください(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ(中島 峯生 2928-1161)
 5月15日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館 定例会
 映画「武蔵野」を鑑賞して感想、環境・種子法持寄り学習
 6月12日(火)14:00~「食の安全と種の話」ミニ講演会 聴講
 6月19日(火)9:00~11:00 新所沢東公民館 定例会

8. 所沢シニア世代地域ニュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)
 5月30日(水)13:30~16:00 所沢市中央公民館
 2階学習5号室 第6回 シニア世代なんでも塾
 テーマ「高齢者の健康と介護を考えよう」自由参加
 ※チアダンス SP は、5月12, 19, 26日(土)練習日

9. 所沢の自然と農業(清水 仁一 2944-8835)
 5月29日(火) 10:00~ カルチャーパーク雑木林手入れ
 6月12日(火) 14:00~17:00 場所中央公民館3F
 「食の安全と種の話」ミニ講演会 食とこサークルと共催
 6月14日(木) 13:00~新所沢公民館 定例会

10. 野老澤の歴史をたのしむ会(小川 雅愛 2907-9476)
 5月24日(木) 9:30~15:00 (予定) 所沢駅集合
 明治大学博物館(考古学)見学と付近の散策
 6月10日(日) 10:00~14:30 名栗ふるさと会館集合
 「武州世直し一揆 フィールドワーク」ウォーク約8.5キロ

11. ドラマティック・カンパニー(柳澤 千賀子 2968-5035)
 5月12日(土)10:00~12:00 中央公民館
 26日(土)10:00~12:00 中央公民館
 6月 2日(土)10:00~12:00 場所未定
 文化祭に向けて「ハムレット」の練習です。

12. 懐かしの映画・鑑賞会(二上 拓夫 080-1250-6151)
 5月 8日(火)10:00~12:30 西新井町公民館
 洋画「帰らざる河」(54年)ロバート・ミッチャム
 5月29日(火)10:00~12:30~15:00 西新井公民館
 邦画「蒲田行進曲」(82年)松坂慶子、風間杜夫、平田
 ⇒四季の歳時記:端午の節句 男子料理でおもてなし

13. 脳活サークル(加曾利 厚雄 2939-2308)
 5月28日(月)13:30~16:00
 於:こどもと福祉の未来館 1F1号
 泉 志津子 氏による
 「認知症サポーター講座」 「介護保険制度の改正点」

14. 北欧の会(樋口 俊夫 090-6483-7993)
 6月 5日(火)10:00~12:00頃 新所沢東公民館
 第86回例会 持ち寄り学習 他

15. 傍聴席(石堂 智士 2947-0835)
 5月21日(月)14:00~16:30 新所沢東公民館 学習会
 出前講座 上下水道局経営課「下水道料金のあり方」
 下水道料金改定や下水道事業の質問書に関する説明など
 次月予定6月18日(月)「会員フォーラム」予定

16. 民話の会(仲山 富夫 090-3902-0283)
 5月18日(金)10:00~13:00 こどもと福祉の未来館
 定例会 「とんぼの宿り木」「南永井のさつまいも」読み合わせ
 6月 6日文化祭参加内容検討
 6月末、所沢市立明峰小学校での「お話し会」内容検討

理事会報告
 5月24日(木)13:15~14:15 生涯学習推進センター
 市民大学25期企画委員会とOB3 団体懇談会開催
 9月6日(木)13:15~14:15 生涯学習推進センター
 市民大学25期修了者へのOB3 団体説明会開催

◆各サークルより行事参加を呼び掛けています。
 内容は当ページサークル活動計画をご覧ください。積極的
 にご参加ください。
 倶楽部新入会 4名あり、今年度新入会員は 26名となりました。

みんなの広場 第4回

楽悠クラブ 加藤 敏恭

もっと音楽を！

私はいわゆる団塊の世代で、子供時代は洋楽というエルビスプレスリーが世界を席卷していたのだけれど、ある日いきなりビートルズというグループが出てきて、その曲のビート感に心をわしづかみされた。その後は彼らの新曲は全てビルボードの1位となり、正に世界のポップス界の王者となった。今や彼らの曲は小学校の教科書にも載っているようで、素晴らしいグループの登場と退場をリアルタイムで経験できたことは実に幸運だったと思っている。

その後日本にもコピーバンド的なグループが沢山でき、その中からグループサウンズ全盛となった。かたやフォークソングも色々な歌手やグループができて、私などそちらの路線でギターの真似事もしたものだ。 (女の子にもてたいという下心もあったのだけれど)

子供時代に楽器を習わされていたおかげか音楽は何でも好きで、車のプレイヤーにもあらゆるジャンルが入っているの、友人から呆られることもある。人間は音楽で癒され生活も豊かになるし、曲と思い出がリンクしていることもよくある。

人生にもっと音楽を！



むさし野俳句会 (三十年 四月) 作品抄



| | | | |
|-----------------|--------|------------------|--------|
| 手招きに立ち去り難し潮まねき | 中嶋 弘子 | 蜷汁夫婦ともども休肝日 | 小林 貞夫 |
| 水口に軽き風あり余り苗 | 橋本 佑子 | ロープウェイ芽吹き谷を渡りけり | 小林 典子 |
| 漕ぐたびに櫂に纏はる花筏 | 平栗 彰子 | 畝割(さく)る畝休めたる初音かな | 佐藤 八郎 |
| 遠足子ホームにしやがみ点呼取る | 宮本 信生 | 花筏風のあやなすマスゲーム | 白神 恵子 |
| 路地住まひこんな処に花の屑 | 荒幡千鶴子 | 此処よりは琵琶湖疏水や花筏 | 高梨 千代 |
| 菜の花や5分遅れの定期バス | 飯泉 陽子 | 遠足や親の知らざる山路越え | 高橋 三加子 |
| 菜の花や潮風ぬける道の駅 | 井出 昇暉 | 井戸端に鱗散らせて桜鯛 | 高光 泉 |
| 自転車ともろとも倒る春嵐 | 海老澤愛之助 | 大落暉黄金に染まる雪柳 | 利根川啓一 |
| 踏切にどんどん溜まる遠足児 | 粕谷のぼる | 各停のドアよりどつと遠足子 | 鈴木 征子 |
| 花筏太平洋へ漕ぎ出さむ | 河瀬 俊彦 | | |

《編集後記》

春爛漫の皐月、一年中で最も気候が良い今日この頃ですが「広場」5月号楽しんでいただけただけでしょうか？ 当誌は15名の編集委員が、会員皆様から投稿された各サークルの活動報告や個人的なエピソードまた市民大学でお世話になった特別会員の先生方の貴重な投稿文などを中心に毎月まとめ発行しています。

従って、充実した内容の記事を毎月まとめ発行するには、どうしても皆様の積極的な投稿が必要になります。特に今年からは、倶楽部会員の男女比率に比べて投稿者の男女比率が低い女性陣にターゲットを絞って大いに投稿していただこうと編集委員全員で知恵を絞っています。ご協力の程宜しくお願い致します。(松尾 記)

川柳(三三) 作品発表 中島峯生 選

課題 「誘う」

| | |
|-------------------|-------|
| 誘われてはしこの果ては二日酔い | 突拍子 |
| 信じ込む誘いの手法日々新た | りんご好き |
| ご無沙汰のナイトクラブの名調子 | 庵閑子 |
| ご無沙汰の兄弟誘い墓まいり | どうし |
| 悲しみを友に知らせず一人行く | 鼻 鬚 |
| TELするね待つも連絡ありやしない | 丘の河童 |

「自由句」

| | |
|-----------------|-------|
| 満開に花見のはしご一万歩 | 庵閑子 |
| 一粒のくすりにたよる骨粗鬆 | どうし |
| あれこれとサブリ取りすぎ副作用 | 縄文人 |
| 早咲きに幹事泣かせの問い合せ | 突拍子 |
| 満開は続かないから次の花 | 海さとの |
| 平成のご隠居さまは死語になり | りんご好き |

次回 (第32回) 課題「早朝」そして「自由句」、締切り日：5月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-1161